

学校教育目標

自ら考え行動し、協働する児童の育成

めざす児童の姿

笑顔かがやく和気っ子

・自ら学び表現する子 ・よく考え行動する子 ・他者と協働する子

授業の中での子どもの姿

自分の考えを表現して授業がわかる・問題ができる

どの子も「わかる・できる」算数科の授業づくり

授業

【和気小授業スタンダード】

重点①

考えを表現させるための手立て

- ★児童にさせたい適切な表現の明確化
(教科書記載の表現の確実な習得)
- ★算数的表現の指導
(図・式・言葉に関連させた理解・表現)
- ★目標達成に繋がるペア、グループ学習の手立て
(児童全員が表現する場としてのペア・グループ)

重点②

学びを自覚する場面の設定と教師の見取り ・個への支援

- ★目標達成のための的確なまとめ
(本時のまとめを児童と共有)
- ★ねらいに沿った適用題
(問題を解くことでの学びの自覚化)
- ★自己の変容がわかる振り返り
(表現することでの学びの自覚化)

学習を支える基盤

基礎的・基本的な知識・技能の定着

- ・学習規律の確立、読書指導
- ・ICTの効果的な活用【学7】
- ・AIドリル
- ・わけっ子漢字、計算テスト
- ・話し方、聴き方ステージ【学4】
- ・振り返り名人

よりよい人間関係

- ・安定的な学級経営
- ・伝え合い、聴き合える学習集団づくり
- ・生徒指導の4つの視点を生かした集団づくり

家庭・地域との連携【学9】

- ・家庭と連携した生活習慣・家庭学習習慣の定着【学8】
- ・家庭学習強化週間
- ・地域人材の活用【学9】
(ゲストティーチャー・スクールサポーター)

検証

- ・各学期に重点単元の設定(学力向上プランとの連携)
- ・児童の姿を見取る授業参観、授業整理会の工夫
- ・アンケートや実態調査(児童・教職員アンケートの分析、改善)